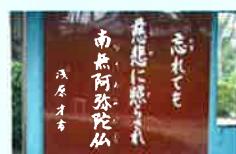


月刊 天真

12月号

発行日 2013(平成25)年12月1日
発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
第441号



親鸞聖人のおそばに… 京都でお参り

悠久の年月を今に伝える京都。その東山に浄土真宗の宗祖・親鸞聖人のご廟所、大谷本廟があります。古来より聖人のご遺徳を追慕する門信徒の心の拠りどころとして大切に護持され、全国からの参拝者が絶えません。そこはご縁のある方々が心をつなぎ、共に手を合わせお念仏をよるこぶ大切な場所です。いのち終わった後も「聖人のおそばに…」という思いから、江戸時代以降、門信徒が大谷本廟に納骨するようになりました。

この地に、天真寺「あんのん堂」があります。聖人の墓所の近くに、天真寺門信徒のための永代合葬墓として完成しました。

あんのん堂では、毎月合同参拝を行っています。紅葉が色づき始めた11月、無事今月もおつとめを終えました。今月の掲示板には「忘れても 慈悲に照らされ 南無阿彌陀仏」と書かれています。お念仏をよるこばれた石見の妙好人・浅原才市さんの言葉です。

私の子どもの頃、時々停電がありました。真っ暗闇がとても怖くて、懐中電灯が天井から吊り下げられると真っ先に灯りの下に行きます。少しは落ち着くのですが、まだ不安が残ります。「お母さんどこ？」という問いかけに、姿は見えずとも「お母さんはここにいるよ」という母からの声を聞いてやっと安心してたことを思い出しました。阿弥陀様は「南無阿彌陀仏」の声となって「阿弥陀はここにいるよ」と呼びかけて下さり、安心の中に抱きとって下さいます。私が忘れていようが、何かに腹を立てていようが、寝ていようが、いつもいつも阿弥陀様のお慈悲に包まれているのですね。南無阿彌陀仏…

(天真寺衆徒・名種木乃実)



京都「あんのん堂」(大谷本廟内) 合同参拝

毎月第2土曜日 午前10時より 12月は14日です
ご自由にお参り下さい また納骨希望のご相談もお気軽にどうぞ

月刊 天真

やじうまテレビ「そつと後押し きょうの説法」



心の境界を払い大きな世界へ

おはようございます。「人間みんな裁判官、相手は有罪、私は無罪」あるお寺の掲示板に書かれていた言葉です。私たちは境界線をとても大事なものと考えます。「自分と他人」「善人と悪人」「好き、嫌い」と境界線がどこか、ということが大問題です。

ある宇宙飛行士は、「宇宙から国境は見えなかった」と語りました。地球に線は引かれていません。境界線は私たちの頭の中にあるものです。あいつに勝った、こいつに負けた、と争い、ともすれば人間関係の中で心を捕らわれて日々を過ごしています。そして、ここからここまでは私の物、と手放すことができずに苦しんでいるのが私たちの姿です。

しかし、その苦しみの原因を作っているのは、自ら引く境界線なのです。仏さまの世界には境界線がありません。煩惱があふれたこの世界から超越した世界を「出世間」と言いますが、仏さまの世界は出世間の世界です。仏法を聞くと、自らが引いた境界線を越えたもつと、もつと大きな世界に出会うことができます。ちなみに、一般に使われる「出世」は、実はこの出世間というのが語源です。

(若住職・龍哉出演
テレビ朝日「やじうまテレビ」9/12放送分)

キッズ企画 お芋たくさん掘ったよー!

先月3日天真寺ふれあい農園で子どもたちが壮年会が育ててくれたさつまいもを掘りました。ハシゴを上って柿の収穫にも挑戦。収穫後はホクホクの焼き芋にして美味しくいただきました。参加の皆さん、お手伝いの役員さん、ありがとうございました。



京都るんびに学園 設立10周年

るんびに学園は、平成15年に京都府綾部市に情緒障害児短期治療施設として開園。児童相談所で虐待などによる心理的障害を認定された小中学生を受け入れる施設です。藤理事長は(大阪西福寺前住職)は、「どんな子どもも必ず輝きを取り戻すことができると信じている。誰にも認められず、苦しんでいる彼らの心の叫びを、私たち大人がしっかりと受け止めたい」と話した。これまで75名が巣立ち、現在24名が入所しています。

天真寺れんげ会(仏教婦人会)では、開園以来同学園への寄付を続けています。これからも一人でも多くの子どもが幸せになれるように支援を続けていきたいと思ひます。

天真寺 天ちゃん募金

「できる人が、できることを」をモットーに続けてきたお寺のボランティア活動、ポラン寺。これまでもカンボジアの子ども支援や、貧困や戦争で苦しむ国々への募金活動などを行ってきました。この度は震災を縁に、助け合いのための「天ちゃん募金」を作りました。皆様のあたたかいお気持ちをお寄せ下さい。

[郵便振替]00270-5-82663
[加入者名]天ちゃん募金



今年最後です **定例法話会**



【日時】 12月20日(金) 午後1時半より
法話会、皆勤精勤表彰式
【講師】 天真寺法中
天真寺メンバーによるリレー法話

午前11時 写経会
12時 お抹茶を楽しむ会
法話会終了後 門信徒会忘年会

お参りに送迎車をご利用下さい!

12:00JR北小金駅→12:30小金原マルエツ駐
車場→12:40栗ヶ沢公園前→13:00JR八柱駅
南口メガネスーパー前



過去帳持参の方は、尊前にお供えします。年回法要や命日をご縁にもお参り下さい。

住職の独り言



いや～急に寒くなりましたね。東北地方へ紅葉を見に行ったら雪だったという話を聞きましたが、もう半月もしたらこんな日が続くわけだ。あの二ヶ月前の暑さが恋しい…。わがままな私です。でも東北や北海道の人は大変ですね。風邪をひかないように身体を温めて下さい。

この娑婆世界を「忍土」といいます。さまざまなきしみや悲しみに耐え忍ばなければならぬ場所です。物がなければ苦しみ、あったらあったで苦しむ。暑い、寒いと煩悩や欲望に振り回されて生きています。お浄土の世界は『大無量寿経』に、「自然の徳風やうやく起りて微動す。その風、調和にして寒からず、暑からず」と示されます。

(天真寺ホームページ11/14掲載)

**スタンドアップ!!
世界の貧困を
ストップ**



「スタンドアップ」は世界の貧困問題解決を目指す、世界貧困デー(10月17日)にあわせて開催される世界的アクションです。2000年に世界189カ国のリーダーたちが「2015年までに世界の貧困を半減する」ことなどを約束しましたが、目標達成は難しいといわれます。世界を変えるには一人一人が立ち上がり、行動することが必要です。より多くの市民が立ち上がりその声を届けることで、世界のリーダーたちを動かす大きな力になるろう!と行動しています。天真寺も支援するNGO法人「アーユス仏教国際協力ネットワーク」の呼びかけで、秋彼岸法要の後にお参りの皆さんと一緒に立ち上がりました。仏教は「縁起」を説きます。すべてのものは依り合い支え合い成り立っています。世界に私に無関係なものはないのです。小さな行動ですが、スタンドアップを通して世界とのつながりを実感できました。ご協力に感謝致します。

天ちゃんの一言

☆先月のおみぎには20名が参加し、仏具を磨き、本堂からお庭までお寺中がピカピカになりました。一年分の煤を払い、心も清々になりました。お手伝い下さった皆様、本当にお疲れ様でした。☆報恩講をつとめ、やっと一息ついたところでもう年末…。この一年も門信徒の皆様、役員の皆様のおかげで無事終わりました。心から御礼申し上げます。来年もどうぞよろしくお願ひ致します。

元旦会

平成26(2014)年
1月1日 午後2時
天真寺本堂にて

【差定】
一、おつとめ
二、御文章拝読
三、流盃の儀
四、別室にて祝膳

新年のご挨拶は
阿弥陀さまに
いたしましょう

「門信徒会」入会案内

門信徒会に入会し、一緒に浄土真宗のみ教を聴きましょう。入会随時受付しています。毎月、寺報と仏教冊子を配布。年会費：一戸3000円



大町 やすらぎパーク
一般区画完売
天真寺区画残りわずか

その後の管理料が一切かからない永代合葬墓です
後継者のいない方、
お墓を作らずに納骨したい方、
仲の良いお友達と一緒に納骨したい方、
「合葬」という考え方を存知ですか?

やすらぎ堂

20万円で合葬を

**大町やすらぎパーク内
永代合葬墓
納骨懇志20万円から**



今月のふれあい農園

浄土真宗
本願寺派

天真寺

〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp

